

請願・陳情は全て不採択に 「戦争立法」は「語弊」なのか！

総務企画常任委
6月11日(木)

6月11日(木)は6月定例会議の総務企画常任委員会。

委員長 越智一久(あつきみらい)、副委員長 古川環(民主クラブ)、徳間和男(改革あつぎ)、奈良握(市民の党)、川口仁(公明党)、石井恒雄(市政クラブ)、井上武(新政会)

議案は1件

財産の取得

「高機能消防指令センター設備機器」と「消防救急デジタル無線(活動波)設備機器」を、3億672万円で取得します。

コンピュータの能力が格段に向上し、現場到着時間の短縮が期待できるとのことです。

主要メーカー5社から見積もりをとって設定した予定価格の56・3%の落札であり、低率入札への懸念が出されました。

「今回は工事ではなく物品であり、最低制限価格はない。試験的な運用をし、仕様に合致することを確認していく」

また、市内企業の入札への努力は、との質疑に、「全国を対象に入札を実施した。過去10年間の実績のある企業を対象とした」と答えました。

請願1件、陳情2件

所得税法第56条の廃止を求める意見書を国に提出することを求める請願

厚木市議会では、休憩時間、請願者が意見陳述

をできることになっています。

請願の審議に入りすぐに暫時休憩。請願者の2名が、5分間で業者の家族労働の実態を、さらに、その後の質疑では、労働の対価が認められないことを訴えました。

各議員からは「青色申告にすればいい」という程度しか言われません。人権問題であるとの訴えはなかなか理解されず、あまりの組み合わせに、傍聴していて唖然。委員会の再開後、青色申告と白色申告の件数についての質問がありました。平成27年度は、青色は9006で63・3%、白色は5217。他の議員から「(白色が)そんなにあるのか」との声が聞かれました。

賛成少数(1名)で不採択。

休憩中の意見陳述や質問とそれへの答えが良かっただけに、記録にも残らないことが残念でたまりません。議会最終日の討論で、何とかしたいものだと思います。

保険診療への消費税ゼロ税率課税

(免税措置)とする意見書を国に提出することを求める陳情

奈良議員 現状の在り方、おかしいと思っている。どう改善するかだ。賛成。

徳間議員 当事者には、どう考えても不合理。市立病院も、消費税率が10%になったら大変。仕入れは消費税を払うが、患者からはもらえない。

川口議員 課税したうえで0%との

陳情。軽減の税率もまだはつきりと決まっていない段階だ。ゼロにならなかった場合、患者にもかかってくる。今の時点で採択は難しい。

採決の結果は、賛成少数(2名)で不採択。

「平和安全法制整備法」「国際平和支援法」案の廃案を求める意見書を国に提出することを求める陳情

奈良議員 賛成、採択すべき。国会延長が9月との話もある。憲法との整合性はどうか。もっと国会がしっかりしてくれないと。最近の答弁に危うさを感じる。そういう人に判断させていいのか。

川口議員 議論の最中だ。「戦争立法」等と書いているが、戦争しようとする人は誰もいない。戦争立法の言葉を使われるのは納得できない。不採択に。

古川議員 「戦争立法」は語弊と感じる。国の動向を見守る。趣旨採択に。

石井議員 「戦争立法」「戦争に巻き込まれないように」「廃案」等、かなりきつい中味だ。国の議論は日々変化している。地方自治体から廃案をでなく、むしろ、じっくり議論してほしい。賛成しかねる。

まず趣旨採択可否かで採決し、賛成は一人。

次に採決に移り、賛成は一人だけ、不採択になりました。

今週の活動から



6月12日(金)、畑野君枝衆議院議員が厚木に入り、市内の様子を見て回りました。昨年の集中豪雨以来問題になっている公共下水道の整備についても、厚木市の現状を訴えながら、現地の視察をしました。公共下水道の整備費用は国庫支出金が財源の一部になります。国からの配慮を強く求めました。

(左：畑野君枝衆議院議員、中：栗山香代子議員、右：釘丸久子議員)

6月定例会議 今後の予定

6月24日(水)議会運営委・本会議
今任期最後の討論と採決です。
9時開会。
ぜひ傍聴においでください。